

国公立大

九州工業大

電気部品を使用した コンテストで各賞を受賞

九州工業大の学生が、福岡県飯塚市の企業が主催する「第4回タカハソレノイドコンテスト(ソレコン)」にて、ソレコン大賞ならびにイグソレコン賞を受賞した。

このコンテストは、電磁力で鉄心を直線運動させる電気部品「ソレノイド」を使用した発明品を動画で投稿し、アイデアと技術を競うもの。

ソレコン大賞を受賞したのは、1日1枚、自動で日めくりカレンダーをめくり、めくり忘れを防いでくれるという「日めくりメクリッパー」。製作したのは、酒井文也さん(大学院情報工学府学際情報工学専攻1年)、森剛史さん(情報工学部システム創成情報工学科4年)、福田静生さん(同3年)で構成されるチーム。酒井さんは「ものづくりには楽しさがある。アイデアを形にするのはおもしろい」とコメントした。ほかには、米塚里奈さん(情報工学部電子情報工学科3年)が「イケメンキスマシーン」でユニークさを称えるイグソレコン賞を受賞。数多くの発明品が出品される中、九州工業大の技術と学びの成果が評価されることになった(学生の所属は2016年受賞当時)。



ソレコン大賞を受賞した学生たち(左から3人)。
昨年はイグソレコン賞を受賞。